

## 特別講演

# 「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、その7年間の歩み

10月27日(木) 15:30~17:00

### 講師 川口 淳一郎 氏

独立行政法人宇宙航空研究開発機構  
月・惑星探査プログラムグループプログラム ディレクタ  
宇宙科学研究所宇宙航行システム研究系 教授

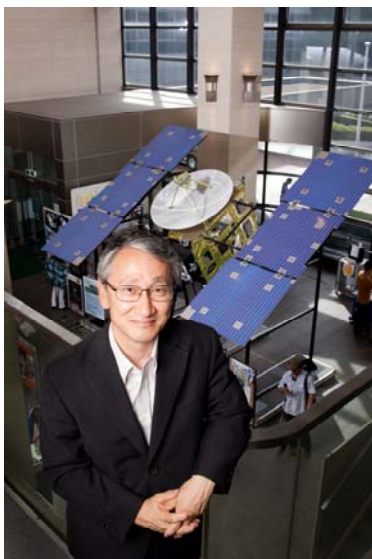


宇宙工学者、工学博士。1978年 京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。

現在、独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 (ISAS/JAXA) 宇宙航行システム研究系教授、研究主幹、月・惑星探査プログラムグループ (JSPEC/JAXA) プログラムディレクタを務める。

また、ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わり、小惑星探査機「はやぶさ」では、プロジェクトマネージャを務めている。

### ■講演概要



「はやぶさ」が実証した地球引力圏外の天体へ着陸し、往復して帰還した宇宙飛行は、人類未到の挑戦でした。「はやぶさ」は、昨年6月13日、その宇宙飛行を終え、オーストラリアのウーメラ砂漠地帯に帰還し、試料回収カプセルを無事降下・回収することに成功しました。

「はやぶさ」は、その飛行中、数々の故障や困難に直面しましたが、プロジェクトのメンバ全員がよくそのミッションの目的を共有し、そして高いモチベーションをもって率先して取り組み、このことが地球帰還の成功へと繋がりました。

この講演では、打ち上げから帰還までの7年間の飛行運用をふりかえり、色々な局面で得られた苦心や教訓を紹介し、成果を次世代へ繋げる方法、新たな構想を立ち上げるのに必要な取り組み方などについて述べたいと思います。